

北薩教育事務所だより

北薩の輝き

令和6年度 第3号 令和6年11月6日発行
北薩地域振興局第2庁舎（川薩保健所内）
所在地：薩摩川内市隈之城町 228-1
電話：0996-20-8771（総務課）
FAX：0996-25-3095

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

一人一人を大切にすること

北薩教育事務所 管理課長 元田 文裕

4月に赴任してから北薩地区内を津々浦々、野を越え山越え谷を越え、はたまた海越えて、たくさん
の学校を訪問させていただきました。どの学校でも温かくお出迎えいただき、毎回毎回、感謝感謝
でございます。これからも度々お邪魔しますので、よろしくお願ひします。

毎度、行く先々の先生方や子供たちから、笑顔と、元気なご挨拶をいただきます。これがなんとも
うれしいです。みなさんの笑顔が私や見知らぬ誰かを幸せにしています。

4月当初のこと。その日は所長と私とで十数校を訪問し、その小学校に到着したときには、ほとん
どの児童が下校した後でした。その静かな校庭の、校舎から遠く離れた正門から「こうちょうせんせ
い、さようなら!」と、とっても元気な挨拶が聞こえてきました。声のする方を見ると、新1年生らし
き子が一人、ちょこんと頭を下げています。すると、今度は「さようなら! 気を付けて帰るんだよ!」
と、山びこのように聞こえてきました。この4月に着任されたばかりの新任の校長先生です。校舎の
前で見送っておられたのでしょうか。

その日、その子は学校でたくさん学んで、たくさん遊んだのでしょうか。そんな充実した一日がにじ
み出た「さようなら!」の声でした。そして、その子を見送る校長の姿が、なんとも清々しいことか。
着任早々、多忙な中であって、一人一人の子供と向き合う時間を大切にされている、そんなことが感
じられる光景でした。

私たち教育事務所は、成長する子供たちと、子供たちを育む先生方を支えるためにあります。そし
て管理課は、見て、聞いて、よく知るために学校を訪問します。なぜなら、学級編制や教職員定数の
「1」はただの数字の「1」ではなく、「この子」であり「この先生」だからです。

「子供の学び」と「教職員の学び」を相似形にするために

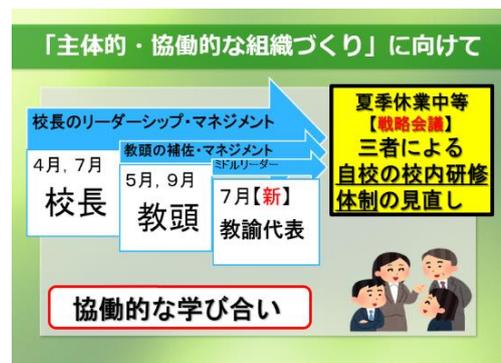
「地区管理職研修会の後、管理職と研修の担当で校内研修の在り方について検討し、年度後半の計画を修正しましたか？」

令和4年の中教審答申において、教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」
を実現することが明示されて以降、各種研修会の在り方が大きく変容してきました。教育事務所と
して、日常的な教職員の学びの場である校内研修が、より個々の教職員の日々の授業づくりのアッ
プデートにつながる機会になることを目指し、本年度は、各種研修会の連続性をもたせました。

具体的には、右図のように第1回校長研修会の協議（4月）→第1回教頭研修会の協議（5月）
→第2回校長研修会の協議（7月）→地区校内研修・生徒指導担当者等研修会（7月）→第2回教
頭研修会の協議（9月）と連続させました。

成果を上げている学校の共通点は、教職員同士の授業を
通した対話が多くあるということです。例えば、相互に授
業を見て、参観した子供の事実を基に、学び合っている取
組や学年部や教科部などの小集団を生かして授業改善に関
する対話を頻繁に行っている取組などです。県や地区の研
究指定協力校等を中心として、様々な工夫が見られ始めて
います。

教職員が「主体的・対話的で深い学び」をするために、
みなさんの学校で行っている取組と成果は何ですか。



※ 研修会等の様子については、北薩教育事務所のHPを御覧ください。

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

【学力調査】

平均正答率 (%)

	小学校6年				中学校3年			
	地区	県	全国	全国差	地区	県	全国	全国差
国語	68	69	67.7	+0.3	54	56	58.1	-4.1
算数・数学	61	62	63.4	-2.4	48	50	52.5	-4.5

【学習状況調査(児童生徒質問調査)】 ※ 数値は、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

質問項目	小学校			中学校		
	地区	全国	全国差	地区	全国	全国差
学校に行くのは楽しいと思う 【ウェルビーイング】	57.4	51.6	+10.2	54.3	43.5	+10.8
先生は、あなたのよいところを認めてく れていると思う【自己肯定感】	46.0	48.8	-2.8	41.3	44.2	-2.9
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点 を見直し、次の学習につなげることができている【メタ認知】	33.1	31.9	+1.2	25.8	27.1	-1.3

本地区の概況は上のおりです。昨年度に比べて小学校は改善傾向ですが、中学校は昨年度にも増して厳しい状況です。学習状況調査のメタ認知などの結果とも関連がありそうです。各学校において自校の分析結果を基に「子供が主体的に学んでいるか」という視点で日々の授業を見直し、「学びの羅針盤」、「北薩の授業づくり3ポイント」等を参考として、改善策についての熟議をお願いします。

合同計画訪問を終えて

令和6年度に予定していた全21校の合同計画訪問が終わりました。当日だけでなく事前の準備の段階から、多大な御協力をいただき感謝いたします。

どの学校でも、学習者を主体とした授業の好事例や子供の意欲を高めたり、安心感を与えたりする環境など素晴らしい実践を多く参観させていただきました。

また、本年度から実施した意見交換では、具体的な課題を基に、様々な視点から検討し、多くの学校の参考となる手立てを知ることができました。訪問で得たことをもとに、地区内各校の支援に生かしていきます。



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日～7日は、学校へ行こう!

今年度、ポスター原画の部、標語の部ともに85校から応募がありました。優秀賞以上を受賞した作品と学校賞に輝いた学校を紹介します。

[ポスターの部]

<学校賞>出水市立鶴荘学園

[標語の部]

<優秀賞>薩摩川内市立高来小学校
1年 西園 翔和 さん
「きのうはできなかったけど きょうはできたよ
あしたはなにができるかな?」

<学校賞>薩摩川内市立川内小学校

念のための行動を!

8月8日(木)に、風テラスあくねで、学校安全教室(防災教室)を開催し、地区内から約100人の参加がありました。鹿児島大学の井村隆介准教授の講義や東日本大震災で親族が被害に遭った平塚真一郎先生(現石巻市立青葉中学校長)の講演がありました。

また、9月開催の地区教頭研修会では、「学校における緊急対応事例が発生した際の適切な対応を学び、教頭先生の危機管理能力の向上を図る。」ことを目的として、校長不在を想定した緊急時対応演習を行いました。

役割 分	責任者・陣頭指揮	陣頭指揮・記録	対応記録	救急措置
	教頭	教務主任	事務職員	養護教諭
0	事 故 発 生			
全体総括 (総合判断・ 指揮)	状況把握	状況把握	対応記録	救急処置 (AED) 救急車同乗
・状況把握 ・救急車要請 ・役割分担決定	ホワイトボード等への対応記録	記録用紙に 対応記録	記録用紙に 対応記録	医療機関との 連絡調整
・警察、教育 委員会への 連絡	記録用紙に 対応記録			

【研修会で使用したワークシート】

「念のための行動をとる。」これは、平塚先生がおっしゃった言葉です。異常気象や大規模地震の恐れが心配される昨今において、いざという時にどう行動すればよいかを、事前に校内研修でシミュレーションしたり、マニュアルを再確認したりしておくことが大切です。

「大丈夫」笑顔の裏の SOS ～管内中学校の生徒による標語から～

職場の同僚性や心理的安全性は、気軽に相談できる温かな人間関係を土台に築かれます。あなたの職場に「大丈夫」と言葉で言っている、悩みを抱えていそうな職員はいませんか?今のメンバーで働ける時間は限られています。お互いに認め合い、支え合い、高め合うチームでありたいものです。そのような日々の積み重ねの先に、きっと不祥事の根絶もあると信じています。